

シングルレバー単水栓

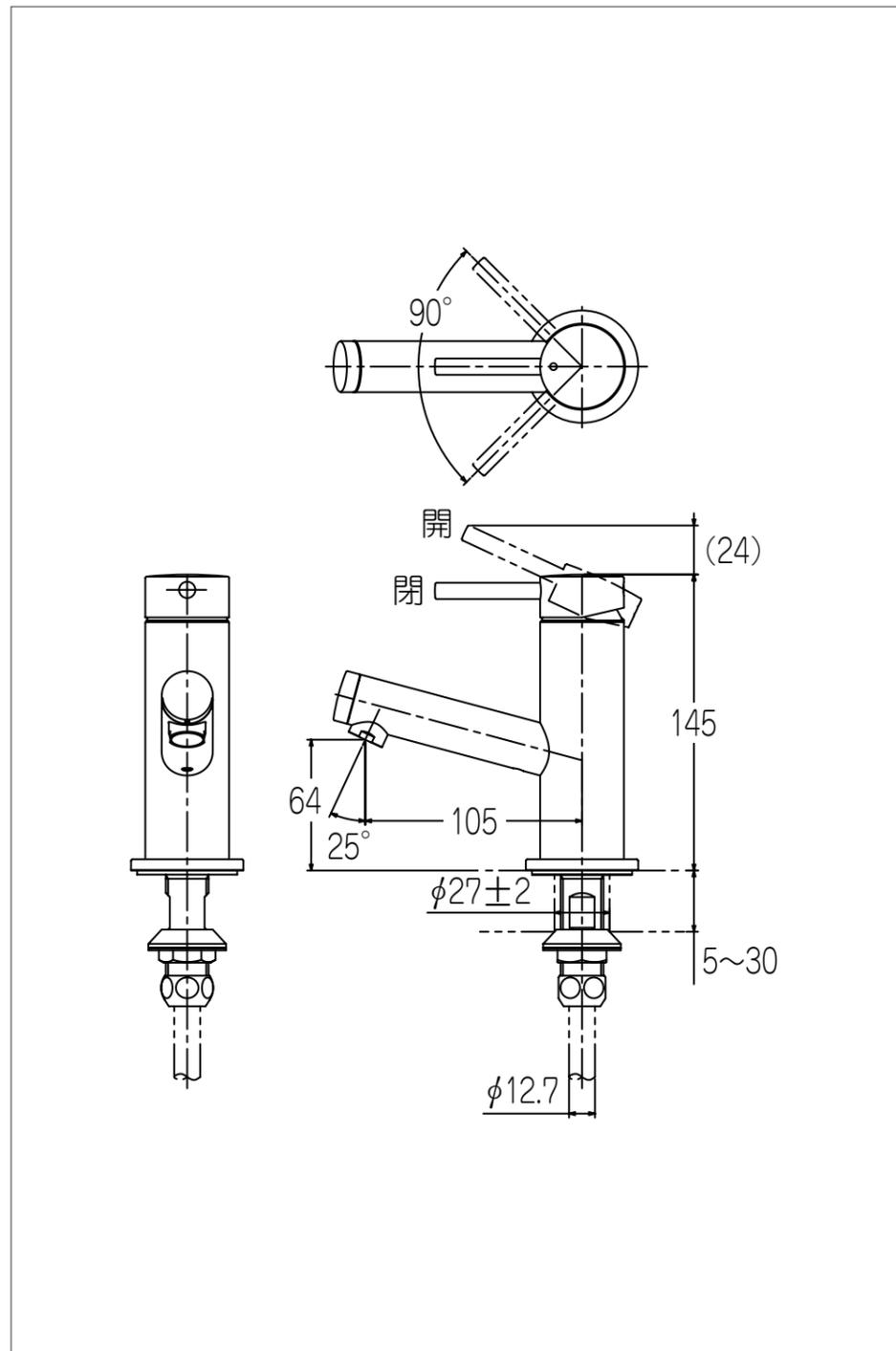
LF-E02型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

●商品図【代表例】



※取付穴：φ27±2mm、カウンター厚：5~30mm

●安全上のご注意

お客さまへお願い

- 取付工事は必ず工事店に依頼してください。ご不明な点がございましたら工事店または、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書はお読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず施工説明書とともに保管してください。

取付工事店の方へお願い

- ここに示した〔警告・注意〕は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 取付工事は、水道法、その他の法令および地方自治体の条例、規則など各種法規にしたがって行ってください。
- 工事または取扱いにあたって、ご不明な点がございましたら、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

⚠ 警告

- 水道水の水質基準に適合した水以外には取り付けしないでください。

⚠ 注意

取付工事の前に

- 流量調節のため、止水栓（別売品）を取り付けてください。
※使い勝手や性能発揮のために流量調節をしてください。とくに水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。
- 給水圧力は0.05~0.75MPaです。
給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力（0.20MPa程度）に減圧してください。
- 取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

取付けに際して

- 同梱の部品以外は使用しないでください。
- 各接続部は、水漏れのないように確実に接続してください。

取り付けした後で

- 最終点検時は配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。
- お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●使用条件

- 給水圧力は以下の条件を守ってください。
給水圧力 { 最低必要圧力……0.05MPa（流動圧）
 最高圧力………0.75MPa（静水圧）
- 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20MPa程度）に減圧してください。

●施工前のご注意

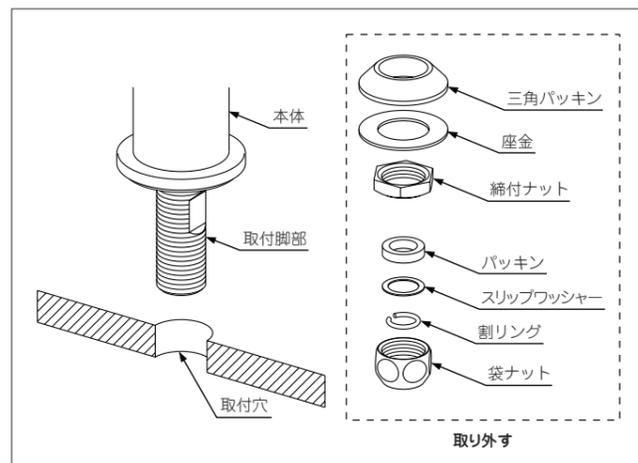
- 給水は、上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）を設けてください。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

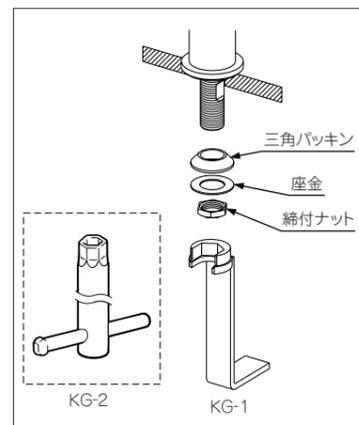
以下の手順の通り、正しく取付けてください。

1. 水栓本体の取付け

- (1)水栓本体の取付脚部に付いている部品を全て外し、本体を取付穴に挿入します。
※施工中、本体を倒さないでください。
鉢などが破損してケガをする恐れがあります。

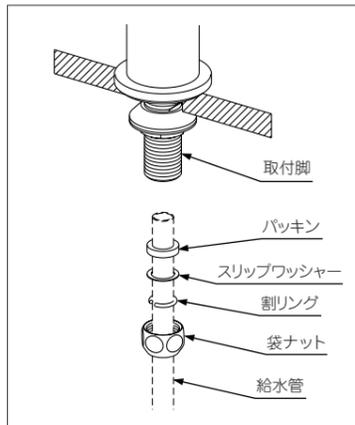


- (2)吐水口の向きに注意し、専用工具で三角パッキン、平座金、締付ナットをしっかりと固定します。
※三角パッキンと平座金は取付穴裏面に当たるまで挿入してから、締付ナットをしっかりと締め付けてください。
※締付けが足りないと水栓本体がぐらついたり、取付穴下への漏水等の原因となります。
※工具は別売の専用工具（KG-1もしくは、KG-2）を使用してください。



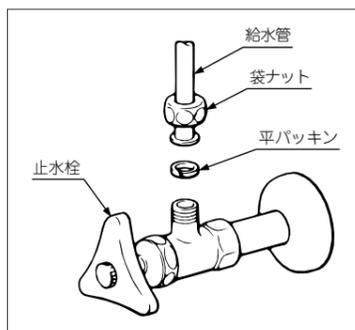
2. 水栓本体と給水管の接続

- 取付脚への差込しろ(約20mm)を確保して、給水管(別売の止水栓に付属)を切断します。
- 給水管に袋ナット、割リング、スリップワッシャー(金属)及びパッキンの順序に組み付けます。
- 給水管を取付脚に約20mm差し込み、袋ナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから、工具で $\frac{3}{4}$ ~1回転増締めしてください。(締付けトルク10~15N・m)



3. 給水管と止水栓の接続

給水管の袋ナットを止水栓(別売品)に固定します。



●施工後の調節

●流量調節

水栓の機能を十分発揮させるために、吐出量が約6L/min(洗面器をいっぱいにするのに30秒程度)以下になるように必ず止水栓(別売品)を絞ってください。

※吐出量が多すぎると、水はねや、節水吐出時にレバーハンドルでの吐出量調節がしにくくなる場合があります。

【エコダイヤル付きの場合】

吐水口先端に節水吐出になるエコダイヤルがついている仕様があります。エコダイヤル付きの仕様は、通常吐出のときに、流量の調節をしてください。



●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

※エコダイヤル付きの場合、エコダイヤルを通常吐水状態で引渡してください。

※この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じることがありますが故障ではありません。ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

故障	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か?	—	「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか?	—	抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか?	—	止水栓を十分開く。
	【エコダイヤル付きの場合】エコダイヤルは、通常吐出状態になっているか?	—	エコダイヤルを通常吐出状態にする。
水が止まらない	整流ユニットのゴミ詰まりはないか?	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	ゴミかみはないか?	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか?	②	キズがあれば部品を交換する。
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか?	③	カートリッジ固定ナットを締める。締め過ぎるとレバーハンドルが重くなる場合がありますので注意してください。
	ゆるみはないか?	④	ハンドル止めビスをしっかり締める。

